

又 市議会だより

ぬまづ

令和7年8月15日
第249号



天王祭の神楽舞（西浦河内）

ピックアップ議会

- 新中間処理施設の建設工事に係る契約議案を可決
令和11年度中の稼働開始に向けて整備を進めます！ …………… P.2

市政について問う！

- 12人の議員が一般質問を行いました …………… P.4~7

委員会レポート

- 常任委員会（総務、文教産業、民生病院、建設水道）
所管事務調査について報告します …………… P.10

沼津市新中間処理施設 建設工事の概要

●契約の方法

総合評価一般競争入札

●契約の金額

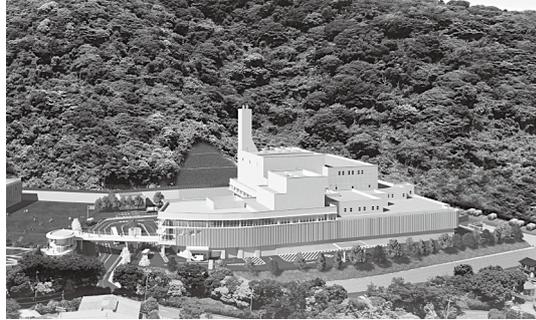
311億5,200万円

●契約の相手方

タクマ・前田・東畑・大藤・加藤・佐藤建設工事共同企業体

「総合評価一般競争入札」とは？

入札価格に加え、機能、性能等の提案を総合的に評価し、発注者にとって最も有利なものを落札者として決定する入札方式です。



▲東側から見た完成予想図
※今後変更となる可能性があります。

民生病院教育委員会での主な質疑

問 総合評価一般競争入札において、落札者のどのような提案内容を評価したか。

答 学識経験者などで構成する事業者選定委員会にて、資源物などの選別純度や回収率を向上・維持するための取組、リチウムイオン電池などの異物除去の徹底に向けたハード・ソフト両面での工夫のほか、メンテナンス動線や作業スペースに配慮したレイアウトの提案を特に評価した。

施設整備の基本方針

1. 地球に優しい施設	4. 維持管理が容易で経済性に優れた施設
2. 安定・安全性に優れた施設	5. 市民に開かれた施設
3. 資源や熱エネルギー等を効率良く活用できる施設	6. 周辺環境と調和した施設

新中間処理施設の概要

●焼却施設

- ・施設規模 210t/日
- ・処理方式 ストーカ方式

燃やすごみ、
焼却粗大ごみ(タンク、棚など)

●リサイクル施設 ※焼却施設と一体整備

- ・施設規模 23t/日

ビン、缶、ペットボトル、
せともの・ガラス類、危険ごみ、
硬質プラスチックごみ、金属類など

事業方式・スケジュール

●DBO方式(公設民営)を採用しました！

民間事業者の創意工夫を取り入れ、経済性や効率性の向上が期待されます。

●スケジュール

R7年度 実施設計業務	R8年度 建設工事着手	R11年度中 竣工・稼働開始
----------------	----------------	-------------------



▲南側から見た完成予想図
※今後変更となる可能性があります。

新中間処理施設の建設工事に係る契約議案を可決
令和11年度中の稼働開始に向けて整備を進めます！



6月定例会の主な内容

第9回（6月）定例会を、6月5日から6月30日までの26日間にわたり開催しました。この定例会では、令和7年度補正予算議案等29件と議員提出議案3件を審議し、議決しました。

また、12人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされたほか、常任委員会などの各委員会の委員が新たに選任されました。

主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
予算	議第62号 令和7年度沼津市一般会計補正予算（第4回）	■3億480万円を追加し、予算総額は960億7,189万円となります 追加するものは、中間処理施設整備事業費1億9,800万円、小学校施設整備推進事業費9,700万円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として繰越金をもって充てるものです。このほか、継続費として愛鷹地区センター（市民窓口事務所）整備事業など3事業の総額及び年割額を変更するほか、債務負担行為として沼津南消防署非常用発電機改修工事費を追加するものです。	可決
契約	議第64号 工事請負契約の締結（沼津市新中間処理施設建設工事）	■沼津市新中間処理施設の建設工事を行います 総合評価一般競争入札により311億5,200万円でタクマ・前田・東畑・大藤・加藤・佐藤建設工事共同企業体 代表構成員 株式会社タクマ東京支社支社長 田邊靖と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、山ヶ下町地内他において、ごみ焼却施設、リサイクル施設、その他施設の建設工事を行うもので、完成期限は令和11年12月31日です。	可決
	議第65号 工事請負契約の締結（大平江川排水機場築造工事）	■大平江川排水機場の築造工事を行います 制限付き一般競争入札により3億2,208万円で大藤建設株式会社 代表取締役 町田直繁と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、大平地内において、排水機場築造工事を行うもので、完成期限は令和8年7月5日です。	可決
	議第68号 工事請負契約の締結（都市計画道路沼津南一色線橋梁架設工事）	■都市計画道路沼津南一色線の橋梁架設工事を行います 随意契約（技術提案・交渉方式）により13億2,880万円で三井住友・大藤特定建設工事共同企業体 代表構成員 三井住友建設株式会社静岡支店支店長 杉村悟と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、東熊堂地内において、橋梁架設工事を行うもので、完成期限は令和8年7月25日です。	可決
人事	認第7号 固定資産評価審査委員会委員選任の承認	令和7年3月31日に辞職した勝呂猛氏の後任として、多比在住の野村英次氏を選任したものです。	承認
	認第8号 監査委員選任の同意	議会選出の監査委員に植松恭一議員を選任するものです。	同意
その他	議第54号 市道路線の認定	■7路線を市道に認定します 沼津駅南第一地区土地区画整理事業の完了に伴い、大手町一丁目地内の1路線、添地町地内の5路線及び西条町地内の1路線について、それぞれ認定するものです。	可決

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



会派別 賛否が分かれた議案一覧

○：賛成 ×：反対 ()内は所属議員数

	議案名	議決結果	志政会 (9)	沼津志帥会 (6)	市民クラブ (5)	公明党 (3)	沼津市議団 (2)	日本共産党 (2)	未来の風 (2)	無所属 (1)
条例	議第58号 沼津市立学校設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	
予算	議第62号 令和7年度沼津市一般会計補正予算（第4回）	可決	○	○	○	○	○	×	○	
契約	議第63号 工事請負契約の一部変更（沼津市新中間処理施設敷地造成工事）	可決	○	○	○	○	○	×	○	
	議第64号 工事請負契約の締結（沼津市新中間処理施設建設工事）	可決	○	○	○	○	○	×	○	

・採決を行った6月30日の本会議において、未来の風に所属する議員の1人が欠席しました。

市政について
問う！

一般質問

第九回（六月）定例会では、十二人の議員が市政について質問しました。



議員名	主な質問項目	掲載頁
片岡 章一	重点支援地方交付金／空き家対策／サンウェルぬまづの利活用	4
小泉 宣子	認知症施策の推進／難聴者への支援／RSウイルスワクチン接種	4
堤 飛鳥	児童生徒の学校健康診断／スマートシティのさらなる推進	5
大川敬太郎	国立公園指定地域の現状と今後の対応	5
大草 満	学校健康診断情報の電子化／遊具等の安全管理と改修、設置	5
渡部一二実	自転車関連道交法施行内容の周知・啓発／名刺管理アプリ	5
高橋 達也	沼津市振興公社の在り方	6
佐野 博一	高齢者見守り連絡所／民生委員の人材確保・体制強化	6
山下富美子	香害／女性相談体制／子宮頸がんワクチン（HPV）と副反応	6
川口 慶	南海トラフ巨大地震への備え	6
高橋 秀子	養育費に関する支援／平和都市宣言の周知	7
平野 謙	孤立死の防止	7

※議員名の下にQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~）については、P.7の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら

優しさを伝えるケア技法 「ユマニチュード」講座の開催は

問 認知症ケア技法である「ユマニチュード」について、①本市の認識は。②普及・啓発のため講座を開催する考えは。

答 福祉事務所長／①ユマニチュードは介護手法の一つで、介護者の心身の負担軽減にも効果が期待できるとの評価がある。介護現場でも様々な介護手法とともに、対象者の特性に応じて使い分けられているものと認識している。

市長／②今後、認知症の人のさらなる増加が見込まれる中、認知症の人やその家族が安心して暮らせる環境

づくりは大変重要である。そのため、ユマニチュードに関する講座の開催については、他都市での実施状況等を踏まえ、検討していく。

問 妊産婦及び高齢者に対するRSウイルスワクチン接種を公費負担とする考えは。

答 市民福祉部長／現在、国においてワクチンの安全性や有効性及び定期接種化に関する議論が進められている。引き続き国の動向を注視するとともに、近隣市町等の状況を踏まえ、公費負担の必要性を十分に調査研究していく。

物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金の活用状況は

問 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用状況及び効果と今後の考えは。

答 市長／本交付金を活用し、令和五年度には市内全世帯へ三千円の商品券配付を行い、令和七年度には小中学校給食費の増額分を公費負担するほか、二か月分の水道基本料金の減免を実施した。これらの取組により、物価高騰の影響を受ける市民や事業者の負担軽減、子育て世帯の支援に寄与していると認識している。

今後も国の推奨メニューや他自治体の事例を参考にしつつ、本市の実情

に即した効果的な取組を進めていく。

問 空き家対策における官民連携の推進に対する本市の考えは。

答 都市計画部長／空き家問題への対応には、自治会や民間団体との連携が重要な役割を担うと考えている。また、法改正に伴い、市がNPO法人等を空家等管理活用法人として指定し、所有者等への普及・啓発や相談対応において官民がより連携した活動を行うことが可能となったことから、今後このような制度を活用しながら、課題解決に向けた官民連携の協働体制の強化を図っていく。

小泉 宣子



片岡 章一



富士箱根伊豆国立公園に指定された地域の現状と今後の対応は

問 富士箱根伊豆国立公園に指定された地域の現状と今後の対応は。

答 都市計画部長／本市においては、西浦地区及び戸田地区の県道沿津土肥線沿線や内浦地区の一部などが第一種特別地域に指定されている。この地域では、自然環境の保全と農林・漁業活動との調整が必要となるほか、家屋などの工作物の新築・増改築など十七項目の行為で国や県の許可が必要となる。これまで、西浦地区連合自治会より、第一種特別地域から普通地域への緩和等を求める要望書が市に提出されており、その都度、

国や県と協議を重ねてきた。令和六年七月には、富士箱根伊豆国立公園、国・県・関係市町定例会において、自治会からの要望を議題とするとともに、同年十一月には、国の担当者との西浦地区連合自治会が直接意見交換を行い、環境大臣への要望書を自治会が提出する場を設けるなど、地域の声が届くよう取り組んできた。今後も、国立公園の地域区分が適切に設定されるよう、国・県との協議や連携を強化するとともに、地元自治会との情報共有等を積極的に進めていく。

大川 敬太郎



学校健康診断における未受診者への対応は

問 学校健康診断における、不登校児童生徒など未受診者への対応と今後の取組は。

答 教育長／現在、各学校においては、集団健診の受診が難しいなど、様々な事情のある児童生徒のために診察時間の変更や支援員の配置など、個別の対応を行うことで、健康診断の着実な実施に努めている。しかしながら、当日の体調不良や長期欠席等、やむを得ない理由により未受診となった場合には、他学年や他校の健診日を案内し、受診勧奨を行っている。また、不登校などで長期欠席

となっている児童生徒は、そもそも学校での受診が困難な状況であることも考えられる。そのため、本市では、未受診者への新たな対応として、学校医の所属する医療機関において、保護者の経済的な負担なく、個別に健康診断が受けられる制度の創設について、沼津医師会等の関係機関の協力が得られるよう、現在協議を進めている。学校における健康診断は、毎年六月末までの実施となっていることから、七月以降、令和七年度の未受診者に対応できるよう、迅速に進めていく。

堤 飛鳥



改正道路交通法の徹底遵守に向けた自転車運転者への対応策は

問 令和八年四月施行の改正道路交通法の徹底遵守に向けた具体的な対応策は。

答 市長／法改正による罰則強化は、自転車関連の交通事故の発生を防止するため、より強く交通ルールの遵守を求めるものと認識している。そのため、本市では、交通安全協会の交通安全指導員が市内全ての中学校・高校に出向き、交通安全教室の開催に加え、法改正の内容等の周知・啓発を行っている。同様に、外国人に対しては日本語学校等で、高齢者等に対しては老人クラブ等で交通安全



▲各学校で開催される交通安全教室

教室を行っている。引き続き関係機関と連携し、交通安全教室や街路指導、市ホームページ等を通じて、市民の交通安全意識のさらなる向上を図っていく。また、交通安全教室受講者に対する修了証の発行を検討するなど、自転車関連の交通事故防止に向けた取組を進めていく。

渡部 一二実



学校健康診断情報の電子化の取組は

問 学校健康診断情報の電子化に対する本市の取組は。

答 教育長／健康診断の情報は、従来から養護教諭が電子データでの管理を行っていたが、担当以外の教職員は電子データとして活用できず、紙媒体による情報共有が主となっていた。この状況を改善するため、令和八年一月から、学校保健に係る電子データの共有が可能となるシステムの導入を予定している。今後、養護教諭等に対して使用方法の研修会を開催するなど、校内の事務処理等の効率化に向け取り組んでいく。

問 学校の遊具・運動器具の安全管理や今後の改修、設置の取組は。

答 教育長／遊具等の安全管理に関しては、教職員による日常点検や専門家による法令等に基づく点検を実施し、必要に応じて補修や使用停止等の措置を講じるとともに、児童生徒に対し遊具等の本来の目的や使用方法についての指導を徹底している。遊具等は、児童生徒にとって、体力向上や運動習慣の定着に必要なものであることから、引き続き安全管理に努めるとともに、できる限り速やかに修繕または更新を行っていく。

大草 満



高齢者見守り連絡所設立に対する本市の認識は

問 高齢者の保護や地域全体でのさりげない見守りのため、高齢者見守り連絡所を本市に設立する考えは。

答 **福祉事務所長**／地域の住民同士が高齢者の様子に注意を払い、見守っていく地域共生の意識は高齢者の安心・安全を確保し、社会的孤立を防ぐ上で重要であり、本市では、あんしん見守りネットワーク協力事業所に登録された店舗等による地域での見守り活動を推進している。高齢者見守り連絡所の取組は、地域住民が主体的に関わる効果的な活動であると認識していることから、今後先

進事例等を調査研究していく。

問 民生委員・児童委員の活動を支える体制の強化策は。

答 **福祉事務所長**／本市では複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援を行うため重層的支援体制整備事業に着手しており、委員では対応困難なニーズを関係機関等へ迅速につなげる体制を強化していくことで、委員の活動の組織的なバックアップ体制としても機能するものと認識している。今後も制度の持続可能性と効果的な支援を確保し、引き続き地域福祉の向上に努めていく。

佐野 博一



文化芸術のまち沼津の実現のため振興公社の在り方を見直す考えは

問 現在、市民文化センターの指定管理業務を担っている沼津市振興公社について、指定管理者としての在り方に対する本市の認識は。

答 **政策推進部長**／振興公社は、長年市民ニーズに沿った運営を行っており、本市の芸術文化の振興等を推進する能力を有すると評価している。指定管理者の指定に当たっては、事業計画書に基づく管理を安定して行う能力を有すること、施設の設定目的に基づいた事業の実施及び施設の管理運営ができること、市民の文化振興に資する事業が実現できること

等が高く評価されている。さらに、駐車場運営の収益を文化センターの芸術文化事業の経費に充当することで、一般の営利団体よりも安価で公益性の高い事業の実現していることから、振興公社の在り方は適切であると考えている。一方、芸術性や市民満足度を重視した公益性の高い事業を実施していく体制を維持しつつ、時代の潮流の変化を捉え対応していくことも必要であることから、他市の状況を注視しつつ、芸術文化に精通する人材の登用など様々な可能性を調査研究していく。

高橋 達也



南海トラフ巨大地震への備えについて本市の取組は

問 南海トラフ巨大地震への備えについて、①重層的な避難支援計画の整備に対する認識は。②緊急物資の備蓄促進の取組は。

答 **福祉事務所長**／①重層的な避難支援計画は、一人一人の状況に応じ、災害発生時に、誰が支援し、どこへ避難するのか、また、その一連の流れの中でどのような配慮が必要であるかといった事項を明確にするものである。避難をより安全、確実にする計画の整備に向けては、行政だけでなく、民生委員・児童委員をはじめ、自治会や福祉サービス事業者等

の協力を得ることが重要であると認識している。

危機管理監／②現在、備蓄計画に基づき、緊急物資の整備を進めており、県の第四次地震被害想定による想定避難者数三分の食料の備蓄を完了しているほか、市内各所に合計二百八十五基の耐震性貯水槽を整備し、飲料水の確保を図っている。また、要配慮者等が使用することを想定し、各避難所に段ボールベッドを二十基ほど配備しているが、今後も保管場所や避難所の実情を考慮し、追加配備について検討していく。

川口 慶



HPVワクチン接種の安全性に関する本市の認識は

問 HPVワクチン接種に伴う副反応について、①他のワクチンと比較した重篤副反応疑いの頻度に対する認識は。②情報提供の取組は。

答 **市民福祉部長**／①令和六年度、本市においてHPVワクチンの副反応疑いの報告事例はないが、厚生労働省の報告によると、全国における百万回接種当たりの重篤副反応疑いの件数は、MRワクチンが十六・二件、四種混合ワクチンが二十一・七件、HPVワクチンが百四十九・八件であり、HPVワクチンの副反応疑いの頻度は、MRワクチンの約九

倍、四種混合ワクチンの約七倍となっている。一般的にワクチン接種の副反応は不可避的に発生するものであり、それぞれの接種状況が異なることから、その関係性について判断することは難しいものと認識している。②本市では、自らの意思で接種することに對する認識を高めてもらうため、市ホームページや受診案内通知により、HPVワクチンに関する接種の効果やリスクについて正確な情報提供を行っている。今後も、国・県及び医療機関と連携し、正確で丁寧な情報提供に努めていく。

山下 富美子



孤立死を防止する対策の必要性に対する認識は

問 孤立死の防止について、①対策の必要性に対する認識は。②本市の支援体制と具体的な取組は。

答 福祉事務所長／①孤立死は、人間の尊厳を損なうもので、遺族や近隣住人、家主、関係する公的機関等に、心理的・経済的な負担を与えるだけではなく、地域つながりや活力を損なう要因となることから、孤立死の防止対策は重要な課題であると認識している。②孤立死を防ぐためには、支援機関や地域の方々が緩やかに見守り、体調の変化や困り事を察知した際には声かけ等で支援に

つなげることが望ましいと考えている。本市では、民生委員や介護事業者、関係機関と連携した支援に加え、警察署や自治会と協力して周知活動に取り組んでいる。また、生活保護を受給している孤立のおそれのある人に対しては、通常の世帯訪問に加え、電話連絡で安否確認を実施しているが、このようなセーフティーネットを把握しきれない人もいることから、今後対象者のさらなる把握に努めるため、地域と支援機関のなお一層の連携強化と周知・啓発が必要であると認識している。

平野 謙



ひとり親家庭の養育費等に関する支援を行う考えは

問 ひとり親家庭に対して、養育費の取決めや未払いの養育費確保の支援を行う考えは。

答 福祉事務所長／児童の養育のためには、養育費等について離婚前に十分に話し合い、取決めをしておくことが重要であるが、取決めをせずに離婚したり、相手方の事情により取決めどおりの受け取りができないことで、経済的に困窮する場合がある。そのため、養育費の取決めを公正証書等の書面に残すことや養育費確保のための保証契約に関する支援を行うことは、その後のひとり親家

庭の生活の安定に資すると考えられる。今後は他市町の状況等も確認しながら支援の方法を検討していく。

問 核兵器廃絶平和都市宣言の周知についての取組は。

答 市長／本市は昭和六十二年三月二十日に核兵器廃絶平和都市を宣言して以来、平和を考える小中学生作文集の刊行や原爆パネル展の開催、モニタメントの設置など様々な取組を行ってきた。今後は、公用車へのラッピングなど他の事例も参考に、引き続き核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨を広く周知・啓発していく。

高橋 秀子



用語解説



※1 ユマニチュード (P.4)

ユマニチュードは、フランスの二人の体育学の専門家により開発され発展した、高齢者や認知症の方への支援に特化した人間の尊厳を尊重するケアの技法。「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱を基本として、相手の目を見て安心感を伝え、優しく話しかけ、触れることで信頼関係を築き、可能な限り立つ支援をすることで相手の尊厳を守りながら自主性を引き出すことを目指すもの。認知症の方の不安や混乱を減らすとともに、ケアする側の負担軽減にもつながるとされ、日本でも、介護や看護の現場に限らず、自宅での介護においても広く用いられている。

※3 孤立死 (P.7)

孤立死という言葉に統一された定義はないが、内閣府の「孤独死・孤立死」の実態把握に関するワーキンググループでは、「誰にも看取られることなく死亡し、かつ、その遺体が一定期間の経過後に発見されるような死亡の態様」と表現されている。

※2 富士箱根伊豆国立公園 (P.5)

富士山を北端として富士火山帯に属する各種火山地形や温泉、変化に富む海岸線や島々からなる火山国日本を代表する国立公園のこと。本公園は、富士山を中心にその周辺の湖沼や高原を含む富士山地域、東海道の宿場町で古くから温泉地として名高い箱根地域、天城連山と変化に富んだ海岸線と温泉が魅力の伊豆半島地域、今日でも火山活動が活発な島々を含む洋上の火山島からなる伊豆諸島地域の4地域に分けられる。至るところから秀麗な富士山が眺望できるほか、首都圏に近いこともあり、日本で来訪者が最も多い国立公園である。



▲富士箱根伊豆国立公園の指定を受ける大瀬崎から望む富士山



常任委員会などの構成が決まりました！

議席番号	氏名	議会運営委員会	常任委員会					特別委員会	協議または調整を行うための場	一部事務組合議会			会派別					
			総務経済委員会	民生病院教育委員会	建設水道危機管理委員会	一般会計予算決算委員会	特別会計企業会計予算決算委員会			沼津駅鉄道高架とまちづくり特別委員会	沼津市議会議会だより編集委員会	伊豆市沼津市衛生施設組合議会	駿東伊豆消防組合議会	駿豆学園管理組合議会	志政会	沼津志帥会	市民クラブ	公明党
1	川口 慶			○	○											★		
2	高橋 秀子		○			○		○								○		
3	大川敬太郎		○			○		○		○				○				
4	堤 飛鳥			○			○			○				○				
5	佐藤健一郎			○			○	○	○	○					○			
6	大草 満				☆	○		○							○			
7	浅田美重子	○		☆			○							★				
8	村木 豊	○	☆				○	○						○				
9	小泉 宣子		○				☆	○								○		
10	大場 豪文				★	○								○				
11	平野 謙				○		☆	○			○							○
12	◇尾藤 正弘		○				○		★		○				○			
13	久保田吉光				○	○								○				
14	佐野 博一				○	○					○			○				
15	井原三千雄		★			○		○						○				
16	小澤 隆			○			○		☆	○				○				
17	江本 浩二			○			○											★
18	山下富美子		○			○			○									○
19	片岡 章一				○		★									○		
20	長田 吉信	★		○		○										★		
21	深田 昇	○	○				★								★			
22	◆梶 泰久		○				○								○			
23	渡部一二実			○			○				○				○			
24	加藤 明子	☆	○				○							○				
25	渡邊 博夫				★		○	○				○		○				
26	高橋 達也	○	○			○								○				
27	□植松 恭一				○	○		○							○			
28	浅原 和美	○			○	○		★						★				
合計人数		7	10	9	9	14	14	9	7	4	5	1	9	6	5	3	2	1

◆は議長、◇は副議長、□は議会選出の監査委員、★は委員長または会派の代表者、☆は副委員長、○は所属となります。(R7.6.30 現在)

常任委員会とは？



沼津市議会では、議案をきめ細かく審議するため、5つの常任委員会（総務経済・民生病院教育・建設水道危機管理・一般会計予算決算・特別会計企業会計予算決算）を設置し、それぞれの委員会で議案を慎重に審査しています。

ここでは、定例会中における委員会での審査の流れについて紹介します。

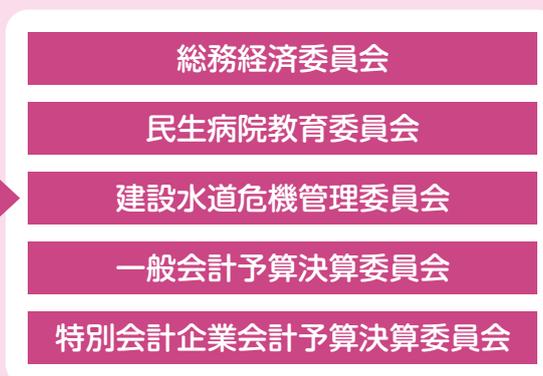
本会議

本会議において議案が提案され、内容の説明、質疑を経て、それぞれの議案について、関係する委員会に詳しい審査を委ねます（付託）。



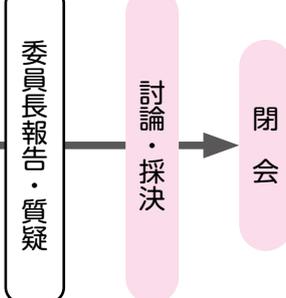
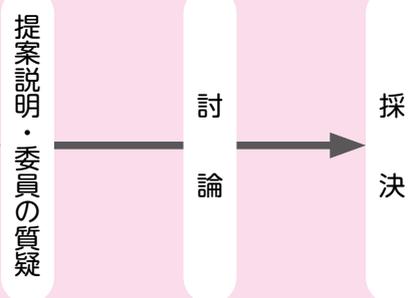
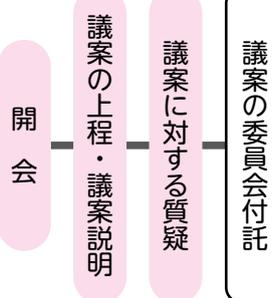
委員会

委員は、付託された議案について、疑問点や不明点など、本会議よりもさらに細かい内容について市に質問し、専門的かつ詳しく審査します。そして、それぞれの議案に対する委員会としての賛否を決めます。



本会議

委員会での審査の経過と結果を委員長が本会議で報告し、委員長報告に対する質疑、討論を行います。その後、議員全員で、議案に対する採決を行い、議会としての意思が決定（議決）されます。



議会改革の一環として常任委員会を再編

沼津市議会委員会条例の一部を改正する条例が、令和7年6月5日から施行され、予算決算委員会を除く4つの常任委員会が3つに再編されました。

これにより、1つの委員会の委員数が増え、より多様な視点からの議論や調査が可能になりました。

令和7年6月定例会から

総務委員会
文教産業委員会
民生病院委員会
建設水道委員会



総務経済委員会
民生病院教育委員会
建設水道危機管理委員会

4 常任委員会の 所管事務調査報告

常任委員会は、その部門に属する事務に関して調査を行う権限を持っています。所管事務調査権は、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するのとは違い、各常任委員会が自主的にテーマを設定し、調査を行い、市に対し提言するものです。今回、この調査報告がまとまりましたのでお知らせします。

総務委員会

災害情報の収集・発信と防災意識啓発の 取組等について

認識

近年、大雨による水害等が激甚化・頻発化し、全国的に甚大な被害が発生しているほか、今後南海トラフ地震等、大規模災害の発生が予測されており、各自治体は防災・減災に向けた取組の一層の強化が求められている。

調査

勉強会により、本市の現状と課題について把握したほか、先進事例として、愛知県豊橋市及び兵庫県神戸市における防災・減災の取組について視察した。

主な提言

- 災害情報の収集のほか、災害時における各部局との連携や迅速な災害対応を行うため、令和7年度から本格運用を開始する災害情報共有システム等を活用した一元的かつ有効な情報収集及び共有方法を検討すること。
- 災害時に女性や子ども、高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安心して避難ができるよう、避難所の環境改善を進めるとともに、備蓄品・資機材等の充実を図ること。

文教産業委員会

沼津市教育大綱に掲げる「貴き志を持つ人」 の育成を目指した主体的・対話的で深い学 びの推進について

認識

「Society5.0」時代において次代を切り拓く子どもたちは、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を身につけることが必要とされており、学校教育もこうした新たな時代を生き抜く力を育むために、新たな学習スタイル・授業観を創造することが求められている。

調査

勉強会や学校視察により、本市の現状と課題について把握したほか、先進事例として、長崎県長崎市及び滋賀県草津市における主体的・対話的で深い学びの推進について視察した。

主な提言

- 単元内自由進度学習や AI 型教材を活用した家庭学習など、児童生徒の「自己調整力」や「主体的に学習に取り組む態度」を育む施策を検討すること。

民生病院委員会

子どもの居場所づくりについて

認識

日本が「子どもの権利条約」を批准して 30 年、多くの法律改正が進む一方、虐待、いじめ、引きこもりなどの子どもを取り巻く課題は依然深刻である。特に若者の自己肯定感の低さや夢を描けない状況が問題であり、行政や地域社会が、居場所づくりや家庭支援、教育現場での包括的支援などを強化して対応する必要がある。

調査

勉強会により、本市の子どもの居場所づくりにおける現状や課題について把握したほか、先進事例として、滋賀県野洲市や三重県名張市の取組について視察した。

主な提言

- 子どもの成長を支えるため行政主導で地域と連携した支援体制構築が必要であり、権利教育と意見反映の仕組みの構築、早期発見・連携を強化するアウトリーチ活動、安全な居場所の拡充、不足部分の公的補完、担い手育成と相談体制整備による持続可能な支援体制構築を着実に実行すること。

建設水道委員会

デジタル技術を活用した 水道事業の推進について

認識

近年、水道事業は給水人口の減少や老朽化管路の更新、漏水対応など課題が山積している。また、政府からデジタル技術の活用による水道事業の効率化について、全国的な普及を目指し、予算を重点的に配分する方針が示され、デジタル技術の導入による業務効率化や持続可能性の向上が求められている。

調査

勉強会により、本市の現状と課題について把握したほか、先進事例として、岐阜県岐阜市及び静岡県湖西市におけるデジタル技術を活用した取組について視察した。

主な提言

- 効率的かつ戦略的な漏水調査・対策に取り組むため、衛星画像解析技術をはじめとする先進的なデジタル技術の導入を検討すること。
- 効率的な運営やデータ利活用のため、水道スマートメーターの導入を検討すること。
- 国の動向を注視し、補助金等財源確保に努めること。

議場へようこそ！

小学生が議場を見学しました！

市内の小学校3校の6年生が、校外学習の一環として本会議場を見学し、市議会について学びました。

普段は立ち入ることのできない議員席で、市議会の仕組みや議員の仕事について職員から説明を受けると、子どもたちは熱心にメモを取っていました。その後、議会の役割等に関する様々な質問がありました。



▲議場で質問し、熱心に説明を聞く子どもたち

5月9日
香貫小学校 65人

6月2日
原東小学校 32人

7月8日
原小学校 80人

開かれた議会を目指して

政務活動費及び請負状況をホームページで公開しています

政務活動費とは

沼津市議会では条例により、議員の調査研究その他の活動の経費の一部として、会派所属議員1人当たり年額48万円を会派へ交付しています。

■ホームページ公開資料

- 収支報告書
- 支出明細書
- 支出伝票
- 領収書
- 行政視察・研修参加等申請書及び報告書



公開資料はこちら



請負状況とは

議員個人による市に対する請負（地方自治法第92条の2に規定する請負）が、1会計年度につき300万円まで可能となっています。透明性を確保するとともに、公正な議会運営とするため、請負状況を公表しています。

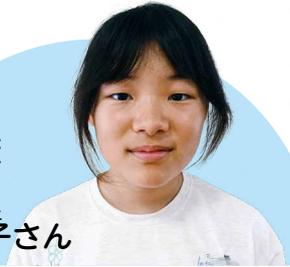
※令和6年度分については、該当する請負の報告はありませんでした。



わたしたちの ゆめ たから



第三小学校
6年
三浦 奏人さん



第四小学校
6年
平賀 優希子さん

人の役に立つ

ぼくの将来の夢は、病気を治す医者になることです。なろうと思ったきっかけは、はたらく細胞というアニメを観てお医者さんの存在がとってもかっこよくてすてきだなと思ったからです。お医者さんになるためにはとてもむずかしい勉強をすることが必要ですが勉強だけでなく、人に親切にしたり困っている人を助けたりするのも勉強の一部だと思います。学校生活や日常においても毎日、意識していききたいです。夢がかない、たくさん人に恩返しができるようにがんばっていきたいです。

たからみたいに大切にしたいな

私は友達が好きです。友達と一緒にいてくれます。楽しくおしゃべりしてくれます。友達がいると、なんだか安心できます。もっと一緒にいたいと思います。私は、友達と好きなことでもり上がるのが一番楽しいです。趣味が合う友達と話す、ちよっぴり幸せになれるのです。

友達になら、思ったことをありのまま言える気がします。私は友達が好きだからです。

友達は私の宝のような存在です。いつまでも一緒にいたいです。

新しい正副議長決まる

正副議長の辞職に伴い、6月5日に選挙を行った結果、第88代議長に梶泰久議員が、第105代副議長に尾藤正弘議員がそれぞれ当選しました。



議長 梶 泰久 議員
副議長 尾藤正弘 議員

永年勤続議員表彰される

尾藤正弘議員、久保田吉光議員（議席番号順）が議員10年として、全国市議会議長会から永年勤続表彰を受けました。あわせて、議会と市長から感謝状が贈られました。



▲感謝状の贈呈 ▲左から、尾藤議員、久保田議員

前議長に感謝状を贈呈

6月5日に議長を辞職された高橋達也議員への感謝状贈呈が、6月30日の本会議において満場一致で可決され、議会から感謝状が贈られました。



▲左から、梶議長、高橋前議長、尾藤副議長

沼津市民憲章を唱和しました

6月定例会の開会前に、沼津市民のまちづくりの規範として制定された沼津市民憲章を、本会議場で唱和しました。



議会だより次回発行予定 令和7年12月1日



見やすくよみまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより編集委員会

委員長 尾藤 正弘
副委員長 小澤 隆

委員 高橋 秀子
委員 小泉 宣子

委員 大川敬太郎
委員 山下富美子

委員 佐藤健一郎